

第5回大台町立小学校のあり方検討委員会 報告書

【区長会代表との懇談】

アンケート結果では、保護者・一般ともに「基礎的学力の向上」と「安心して学べる学校づくり」を重視。教育環境では「安心して学校生活を送れる環境」「安全な通学」「教員の指導体制の充実」が上位で、「多くの仲間と切磋琢磨できる環境」や、一般層では「地域の人とのつながり」も重視された。

児童数減少への対応（資料4～6）では、統合に前向きが多数。統合時は「通学手段」「通学路の安全」「距離・時間」を重視、現状維持の場合は「少人数教育の充実」「安心・安全な学習環境」「交流学习の拡充」、一般では「複式学級に対応できる教員研修」も挙げられた。

再編規模（資料7）では「4校を2校に」が最多。地理・交通実態や将来児童数を踏まえた配置が必要

（意見）

- 子どもの競争という視点で考えると、統合していくことも必要だと思います。ただ、そもそもなぜ子どもが少ないのか、という問題にたどり着く。行政として、この点にどう取り組んでいくのかが大切。区も役を決めるときに人不足でなってくれる人がいない。
- 子どもたちがこの距離（大杉地域）を通うとなると大変だと思うが、統合は必要だと思います。どのタイミングでするのかということになると思います。複式になる前に統合していくのがいいのではないかと考えます。
- 子どもたちのことを考えると、統合していくのがベストだと思います。たくさんの中で学ぶことによって社交面、学習面など身につきます。人数が少ない学校にいた子どもと人数の多い学校にいた子どもでは差が生まれてきます。
- 協和中学校の統合の時は、ずいぶんと時間がかかったこともあるので、慎重に検討していくべきだと思います。事務局でしっかり考えを固めてもらって進めていったらいいと思います。多くの人の中で学んでいく方がいいと思います。
- 度会町では4つの小学校が1つになった。スムーズに統合が進んでいったと思っている。行政がリーダーシップを発揮し、子どもたちの意見を大切にしながら、スピード感をもって取り組んでほしい。コストも大切だが、タイミングが一番大切だと思います。
- 行政がリーダーシップを発揮し、子どもの意見を尊重してほしい。先延ばしは避け、方向性を示してほしい。